

城北



令和7年1月1日現在
総世帯数 3,791
総人口 7,787
男 3,702
女 4,085

年越しそば打ち講座

12月15日(日) 年越しに向

けてのそば打ち講座が開かれました。師範は前沢村町会長の古田健司さんと、大手公民館長の遠藤彰さんです。

お子さん4人を含む18人が参加し初体験のそば打ちに挑戦、1人そば粉500グラム5人前の二八そばを打ちました。まず古田さんから模範指導があり、3回の水回しでそば粉を丁寧に混ぜ合わせ、耳たぶ程度の柔らかさにした。次に上から押して力を加え練り上げ粉の中の空気を出し円錐形に仕上げ、両手で押

真剣に模範指導を見る参加者



▲親子での参加も複数ありました

す丸のしをしてから、めん棒で5ミリほどまで広く薄くのし、四つだしで前に引き大きく延ばして出来上がりです。

打ち粉をまいてたたみ、駒板で抑えながらそば包丁で切って完成です。そして4テーブルに分かれて一人一人悪戦苦闘しながら、師範のご指導を受けて手打ちそば打ちを体験しました。古田名人の打ったそばに舌鼓を打ち、自作品は持ち帰り、自宅で我が腕前を満喫しました。冬至まじかの寒空に心と体がぬくもった体験会でした。

工事完了！ 国宝旧開智学校 見学会



11月25日(月)に耐震工事が終わり3年ぶりに再開された国宝の旧開智学校校舎の見学会が城北公民館の主催であり22名の方と参加してきました。見学会は学芸員の遠藤さんの案内で行われました。

今回の耐震工事は、移築より60年余り経過した校舎を平成28年より2カ年で行った耐震基礎診断に基づいて震度6強以上の大地震の発生があった場合に来館者が安全に避難できる時間を確保する目的で行われました。今回の工事は補強工事として壁面、基礎部分水平構面、塔屋の補強と破損箇所の部分修理が行われました。

今回の耐震工事での工事の様子や補強工事で明らかになった事柄について説明を受けてきました。工事箇所については床や壁、天井裏などに



施されているため外観からは分かりませんが、工事中の資料が新たに展示されており、どういう工法で工事されたのか分かるようになっていきます。



旧開智学校が明治9年に建設された際に大工棟梁の立石清重さんが建築材料として当時の廃仏毀釈で廃寺となり取り壊された古材を使用し建設され、棟梁が残した資料により今回の工事の際に使用場所がそれぞれ確認でき展示品の中にも写真資料としてありました。今回の補強工事により従来の登ることが禁止されていた塔屋にも常時ではありませんが日にちを決めて希望者は登ることができるようになりました。

この度の展示再開に合わせて従来の建設資料や学校資料に今回の補強工事資料も合わせて展示されています。この機会に見学してみませんか。ただし旧開智学校は木

造ですので暖房類が設置されていません。冬季期間の閲覧の際は充分な寒さ対策をされていくことをお勧めします。

杵を振り上げ ぺったんこ



コロナ禍で5年ほど中止されていた、城北公民館のお餅つきが12月26日に玄関前で行われました。息ぴつ

たりの、つき手とこね手が、4キロの餅粉を四白つきあげました。参加の子どもたちも負けずに、ヨイシヨ、ヨイシヨと仲間入りし、師走の風物詩を体験しました。つきあがった餅は早速参加者に振る舞われ、つきたての美味しさに舌鼓をうちました。職員が作った鏡餅は玄関に供えられ、巳年の安泰を祈りました。



★ 12月の催し ★



▲蟻ヶ崎東:餅つき大会



▲城北公民館:クリスマスリース作り

城北の
年末年始

書初め大会 1月4日



町会行事



▲北馬場:新年会



▲蟻ヶ崎東・深志ヶ丘:三九郎



▲蟻ヶ崎北:三九郎

▲新田町・北馬場・徒士町・旗町・田町
三九郎

▲白金町:三九郎



▲堂町・西町:三九郎